

【東通村】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

子供たちの未来を見据え、児童生徒の一人一台学習用端末と高速大容量ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる。

また、教師と児童生徒、児童生徒同士が ICT 機器を使ってやりとりすることで、主体的・対話的で深い学びになるような姿。

2 GIGA 第 1 期の総括

一人一台端末と通信ネットワークの整備を行った。

端末を活用した学びの実践のために、学校から感想や意見などを定期的に聞き、改善できるところは改善するよう努めた。ハード面でも破損等があるたびに教育委員会が修理や交換の手続きを行った。

明らかになった課題としては、

①近隣市町村と使用している端末が違うため、転勤のたびに使い方が変わり職員が十分に活用できない。また、初任者研修でも端末が違うことでの不具合があった。

<解決策>

端末の更新時に、使用する端末を近隣市町村が使用しているものと揃える方向で話し合いをしている。

②「通信が遅いと感じるときがある。」という現場の意見。

<解決策>

再度ネットワークの整備を行う必要があるか業者に確認中。必要があれば実施する。

③カメラ機能がスムーズではない。

<解決策>

なし。業者に何度も相談したが、どうしようもないとのこと。

3 1 人 1 台端末の利活用方策

- ・ カメラ機能を効果的に使い、運動場面（教科:体育など）、音読場面等自他評価に活用。
- ・ 探究的な学び、調べ学習（授業）の一助
- ・ 生徒会活動の話し合い
- ・ 学習用アプリケーションの導入（R8～有償）による個別最適な学び及び協働的な学び
- ・ 端末上で問題を出題、自動採点するデジタルドリルを有償導入。
（個人ごとに正答率や学習の取組状況等を AI が分析し、一人一人に応じた問題を出題する。）
- ・ 特別支援学級の児童生徒への支援
- ・ 不登校児童生徒の学びの保障として利活用
- ・ 職員会議のペーパーレス化

等々